



日本共産党北区議会議員  
**さがらとしこ**  
区政レポート

2012.10.23.No.1094.

ご相談はお気軽に  
TEL とも **3905-0970**  
FAX

さがらとしこ事務所  
赤羽北3-23-17  
(バス停「赤羽北3丁目」、メガシティ近く)

日本共産党議員団  
区役所内 3908-7144  
<http://www.kitanet.ne.jp/~kyoukita/>

- ◎ 民主党政権の暴走に怒りの声があがっています。なんとかしなければ...と共同のとりくみが広がっています。
- ◎ 日本共産党は、立場のちがいをこえて、一致点を大切にしています。



## オスプレイ配備に抗議 志位委員長がオバマ大統領に書簡

10月19日、志位和夫委員長がアメリカのオバマ大統領に送った抗議の手紙。その全文は、今号の裏面にのせていますので、どうぞお読みください。沖縄の深刻な現状をひきおこしている根本には、「日米安保条約」があります。今、その抜本的な見直しが求められます。



●「TPP交渉参加に反対し、日本の食と暮らしのちを守る全国決起集会」で萬歳章 J A 全中会長(左)と握手する志位和夫委員長=2011年10月26日、東京・日比谷野外音楽堂

「食料自給率を39%に下げたのが自民党。TPPで自給率を13%に下げようというのは民主党。TPPに断固反対し、一貫して農業を守ると言っているのは共産党ただ一人です」  
(奥野岩雄) A北海道厚生連会長・共産党経済懇談会でのあいさつより)

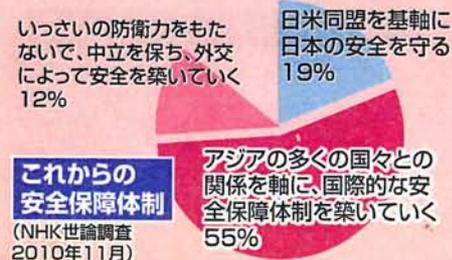
ビジョン  
**3外交**

オスプレイ、TPP(環太平洋連携協定)——アメリカいいなりから  
**安保条約をなくし**  
**対等・平等・友好の日米関係をめざす**

どうするこの日本  
**日本改革の**  
**ビジョンをしめし、**  
**国民とともに行動します**

日本共産党は、4つのビジョンを  
発表し、その実現のために  
行動していきます。

◎ けさは、**外交ビジョン**を  
ご紹介します。どうぞ、ごらん下さい。



**維新** オスプレイ配備も  
TPP参加もOK

- 「維新八策」でTPP参加を明記。
- 「(沖縄の人に)納得してもらえるには、どういうルールにすべきか考えなければならない」(橋下代表・7月6日)とオスプレイを容認。

### 1 米軍基地の重圧から国民が解放される

安保条約第10条に即して、解消を通告すれば1年後に安保条約はなくなります。在日米軍基地もすべて撤去され、撤退費用もアメリカの負担になります。

### 2 憲法9条を生かした“平和の発信地”に

アメリカの“戦争の根拠地”から、憲法9条を生かした“平和の発信地”に大きく変わります。東アジア地域で、軍縮への転換のイニシアチブを本格的に発揮する立場に立てます。

### 3 日本の経済主権を確立する保障ができる

農産物輸入自由化や原発おしつけなど、安保条約第2条で「アメリカいいなり」の経済協力が行われてきました。アメリカとは対等平等になり、まともな経済発展ができます。

# 女性暴行事件・オスプレイ配備に抗議

# 米軍基地の全面撤去を

## 志位委員長、オバマ大統領に書簡

日本共産党の志位和夫委員長は19日、アメリカのバラク・オバマ大統領に書簡を送り、米兵による集団女性暴行事件と米海兵隊の垂直離着陸機V22オスプレイの配備強行に抗議し、米軍基地の全面撤去を求めました。書簡の全文は次のとおりです。

アメリカ合衆国大統領  
バラク・オバマ殿

(1)

この間、沖縄で引き起こされた、米兵による集団女性暴行事件は、女性の尊厳を踏みにじった卑



記者会見をする志位和夫委員長(19日、国会内)

劣きわまりない蛮行です。これまで「綱紀粛正、再発防止」を繰り返しながら、凶悪犯罪の再発を防げなかった米政府の責任もきびしく問われています。私は、強い憤りをもって抗議するものです。

沖縄における米兵犯罪は、本土復帰以降だけでも5700件、このうち性的暴行事件は1777件にのぼります。しかも、これらは氷山の一角であり、被害者が声をあげられず、泣き寝入りをする

強いられたケースも多数あります。

「米軍基地がある以上、悲惨な事件はなくならない」、「事件をなくすには、基地の全面撤去しかない」、「日米安保条約を見直すべきだ」——沖縄では、こうした声が高まっています。沖縄の激しい怒りの声を、真剣に受け止めるべきです。

日本共産党は、米軍基地の全面撤去を求めます。日米安保条約を廃棄して、日米友好条約に代えることを、強く求めるものです。

(2)

オスプレイ配備の強行も、沖縄県民と日本国民の強い怒りを引き起こしています。

9月9日に開催されたオスプレイ配備に反対する沖縄県民大会には、10万人をこえる人々が参加し、オスプレイ配備反対、普天間基地の閉鎖・撤去は、揺るがさない島ぐるみの意思となっていました。それを踏みにじった

配備強行は、沖縄を植民地であるかのように扱う

暴挙というほかありません。とりわけ、激しい怒りの声が集まっているのは、9月19日、日米合同委員会が、「安全対策」なるものを合意したにもかかわらず、実際には、それすら無視した飛行が行われていることです。

「飛行は人口密集地を避けること」、「ヘリモードでの飛行は基地内に限定すること」、「転換モードでの飛行をできる限り限定すること」などの「安全対策」は、ことごとく無視されています。那覇市、浦添市、宜野湾市、金武町、宜野座村、東村などで、人口密集地・住宅地上空の飛行が常態化しています。ヘリモードで住宅地上空を徘徊いなしに飛行するという事態が続いています。

もともと「安全対策」は、「できる限り」などの但し書きがありますが、文字通り「空手形」以外の何ものでもありません。日本共産党は、オスプレイ配備の撤回、普天間基地の無条件撤去を求めるものです。

「飛行は人口密集地を避けること」、「ヘリモードでの飛行は基地内に限定すること」、「転換モードでの飛行をできる限り限定すること」などの「安全対策」は、ことごとく無視されています。那覇市、浦添市、宜野湾市、金武町、宜野座村、東村などで、人口密集地・住宅地上空の飛行が常態化しています。ヘリモードで住宅地上空を徘徊いなしに飛行するという事態が続いています。

その矢先の今回の事件です。沖縄県民連合会の会長は、「危険なオスプレイが縦横無尽に飛んで、危険な米兵が地上にうようよしているのが今の沖縄か。人権蹂躞も甚だしい」とのべています。が、これはすべての県民の気持ちとなっていきます。

米国政府が、沖縄の深刻な現状を直視し、日米安保体制を根本的に見直すことを、重ねて要求するものです。

(3)

2012年10月19日  
日本共産党幹部会委員長  
志位和夫



オバマ米大統領にあてた日本共産党の志位委員長の手紙(左側は英文)